

令和4年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

語学・大学留学コース 8月レポート

令和4年度奨学生 宮原佑季

初めまして。令和4年度埼玉県・オハイオ州スカラシッププログラム奨学生の宮原佑季と申します。フィンドレー大学では学部の交換留学生として勉強しております。レポートを通して、皆様に少しでもフィンドレーと本プログラムの魅力を伝えられたら嬉しいです。

さて、今回の留学は渡航からハプニング続きでした。飛行機の遅延、空港でのピックアップが遅れ深夜に大学に到着、履修登録ができない、コロナ感染などなど…様々な方に迷惑をかけましたが、大学の職員をはじめ、多くの方が快くサポートしてくださいました。

【新入生歓迎イベント】

8月は新学期ということで、到着後から毎日オリエンテーションとイベントが開催されていました。授業開始日まで1日も休憩がなく大変でしたが、日本の大学ではありえない規模のイベントを毎日楽しみました。



Building Oiler Nationというイベントです。
人との関わり方などを学びました。



大学にあるアーチです。このアーチをくぐるセレモニーは
多くの方が集まり圧巻でした。

【生活について】

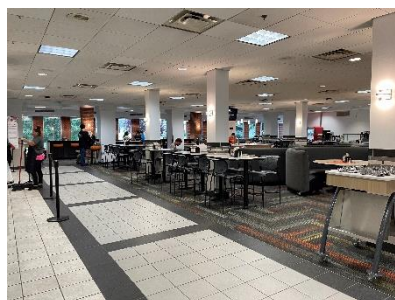
私はシェアハウスのような形で8人のハウスメイトと一軒家で生活しています。今年度はほとんどの交換留学生が寮ではなくシェアハウスで生活するようです。他の学生のハウスを見ましたが、広さや設備の充実度（シャワー・トイレの数、きれいさなど）はまちまちだったのでこればかりは運のようです。食事はミールプランを使用し食堂でビュッフェ形式の食事を食べるか、Derrick Dollarsと呼ばれる学内の独自通貨で購入するのが一般的のようです。ハウスに住んでいる学生はキッチンがついているため、ミールプランを利用せず自炊する学生もいます。私は週5食のミールプランを利用し、他はDerrick Dollarsで購

入るか自炊をしています。キッチンには特に料理道具は揃っていませんでしたので、少しずつこちらで集めながら自炊しています。

生活必需品は車で10分弱の場所にあるウォルマートで揃えます。毎週学校からシャトルバスが出ているため車がなくても買い物ができます。また、キャンパスの近くにはアジアンスーパーもあり、日本の食材や調味料を購入することができます。



食堂の様子です。ビュッフェスタイルで好きなものを好きなだけ食べられます。



アジアンスーパーでの購入品です。

【履修登録・授業】

履修登録は学部・IELP（英語集中コース）など大まかなコース別にガイダンスがあり、他の留学生と共に行いました。workday というシステムを利用して登録するのですが、今期はエラーで履修登録できない留学生が多く、混乱していました。

私は、前期は6つの授業を履修しています。留学生がほぼ必修のライティングの授業のほか、ユダヤ教とキリスト教に関する授業、ジェンダー学入門、国際関係学入門、日本語教育、文化交流の授業を履修しています。予習や課題にはかなり時間がかかりますし、内容が難しくついていけない授業もあり、日々自分の英語力の無さを痛感しています。ただ、フィンドレー大学の先生方・学生はとても優しく、授業についていけているか気にかけてくださったり、私の片言英語も理解しようとしてくれたりします。

【コロナ感染】

プログラムの趣旨とは外れますが、個人的に最も大きな出来事だったので少しお話ししたいと思います。私は8月の中旬ごろにコロナに感染してしまいました。大学には学生が無料で利用できるクリニックがあるのですが、そちらで検査をし、薬ももらいました（薬も無料でした！）。その後、隔離用のハウスに移り、4日間隔離生活を行いました。隔離施設への送迎、隔離中の食事の手配、授業のオンライン受講など対応が全て迅速で驚きました。快適とまでは行きませんが、ほどほどの隔離生活を過ごすことができました。



学内のクリニックで処方された薬です。
日本の薬よりも粒が大きく、驚きました。



隔離中の食事です。毎日決まった時間に
3食届きます。

昨年度の奨学生がされており素敵だと感じたので、私もなりたいと思います。
本プログラムの応募やフィンドレー大学での生活について興味や質問がございましたら、
miyaharay@findlay.eduにお気軽にご連絡ください。私の経験が少しでもお役に立てれば幸いです。